



みなみの空



今年の大雪には、子ども達は大喜びです。大人は、「…。」ですが…。除雪でできた道の両側に壁ができるほどの雪です。雪の中にできた一本の道を歩く親子を見ながら考えました。

最初にやってきた親子は、お子さんが元気で雪の壁を蹴ったり、道からはみ出して雪の多いところをわざと歩いたりしていました。子どもらしい行動です。雪を全身で楽しんでいるのでしょう。しかし、せっかくきれいに除雪された道は、所々埋まってしまいました。お母さんは、全身雪だらけになった子に「雪だらけでしょ！車が汚れるから止めて！」

次の親子が来ました。同じように、元気な子が雪の壁を崩そうとしました。すると、お母さんが、「この道は、誰が作ったんだろうね？」と言いました。それを聞いた子は、ハッとした表情になって、すぐに壁を蹴るのをやめて、自分が崩した所を直し始めました。

その道は、誰かが雪の中で寒い思いをしながら作ったものです。そこから、人の営みを感じ取って大切にできることは素敵です。除雪して作られた道から、人の心を感じる生き方は豊かな生き方だと思いました。



そして、このお母さんが、「この道は、誰かが頑張って作ってくれたんだから崩しちゃダメ！」とお説教しなかったのも素敵でした。お母さんは自分で気付かせるようにお話しています。きっと、普段からそういうことを教えているのだと思います。これって、素晴らしい教育ですね。

公園の芝生の周りにロープが張ってある場面をよく見かけます。「入らないで。」というサインです。このロープに込められている思いを汲み取る人と、それが見えない人がいます。南小の子ども達には、「大切なものは見えないんだよ。」とお話したことがあります。学校では、この大切な何かを感じる心を育てていきたいと思っています。



大雪です



久しぶりの大雪です。楽しく遊ぶには、とてもいい雪なのですが、危険も多いと思います。注意事項を挙げさせていただきます。学校でも指導しておりますが、各ご家庭でもお声かけをお願いします。

- * 除雪作業によってできた雪の山からの転落や、隙間にはまってしまう事故
- * 屋根からの落雪やつららの落下による事故
- * 排雪口に落ちる事故
- * かまくら遊びなどで雪に埋まってしまう事故
- * 川や水路にせり出した雪庇から転落する事故
- * 凍結した池などの氷を踏み抜いて転落する事故
- * 除雪車や除雪機等に巻き込まれる事故



○ コロナ 情報 ○

いよいよ第6波が始まりました。学校が感染源とならないように、対策を徹底しています。学級閉鎖の措置等の基準は以下の通りです。(文部科学省ガイドラインR3. 8. 27)

(学級閉鎖)

- ◇ 1学級に複数の感染者が判明した場合
- ◇ 感染は1名でも、複数の風邪症状の子がいる場合や濃厚接触者が複数いる場合

(学年閉鎖・臨時休校)

- ◇ 学年内や学校全体で、感染が広がっている可能性がある場合